

R 3 企 工

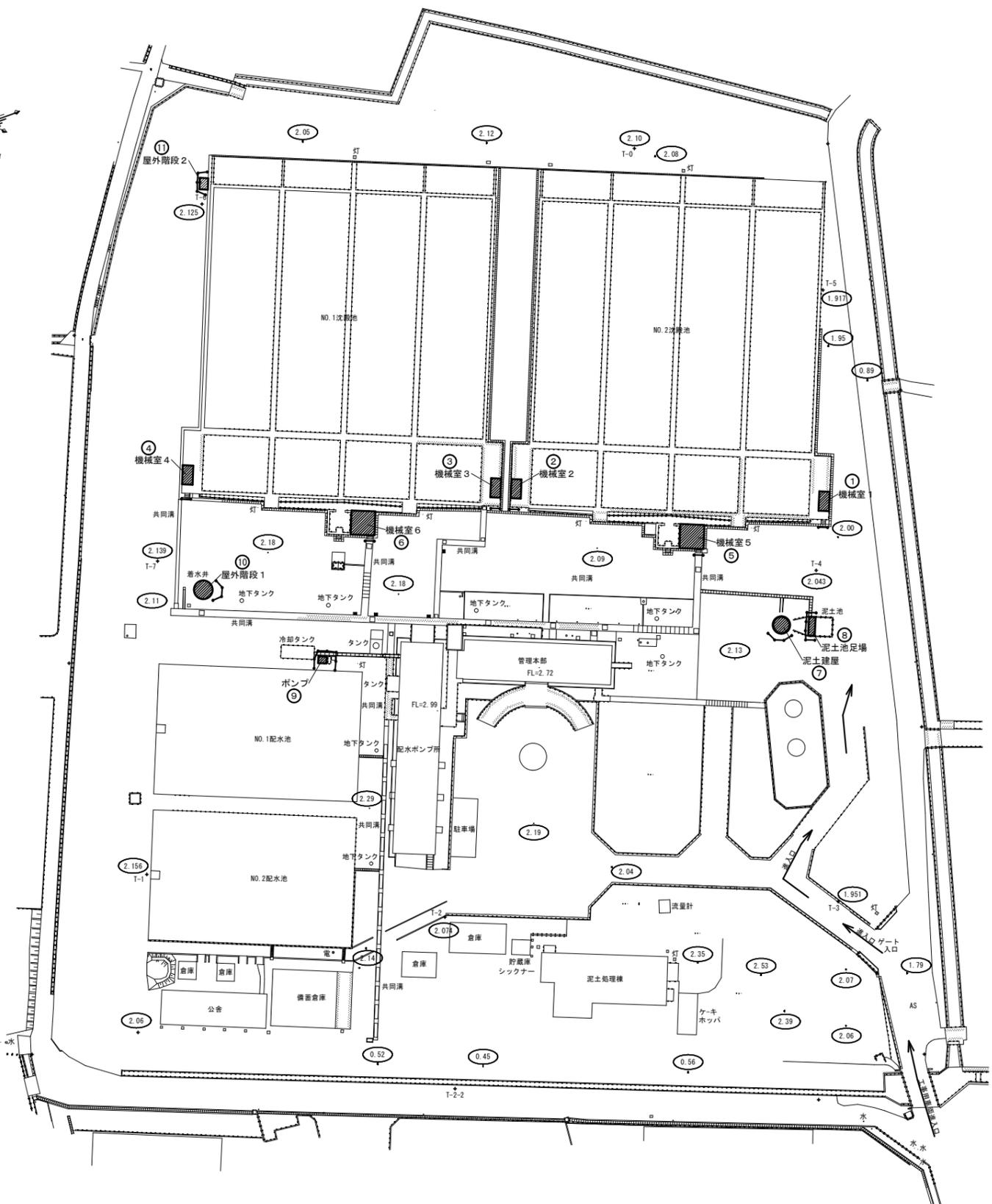
吉 野 川 北 岸 工 業 用 水 道

排 泥 弁 室 浸 水 对 策 他 工 事

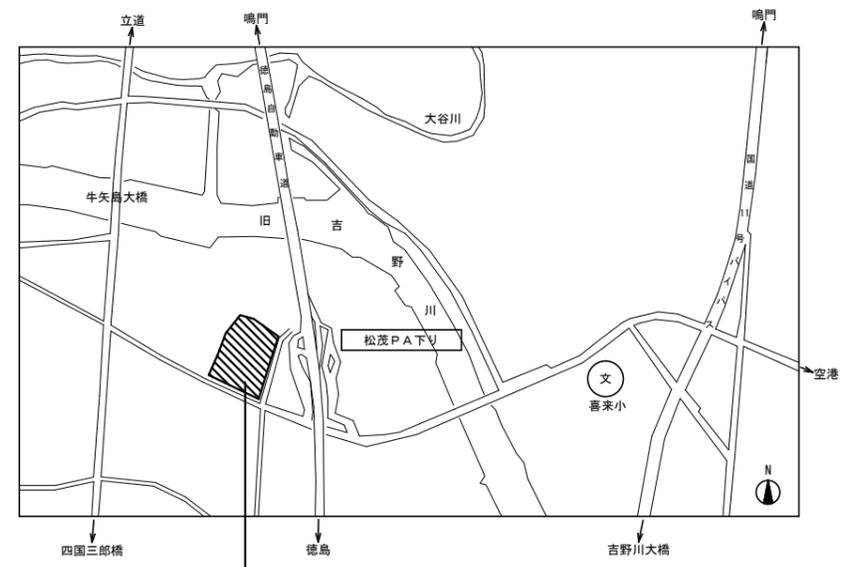
図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
A-01	改修特記仕様書 1	A-16	屋外階段 1 詳細図
A-02	改修特記仕様書 2	A-17	屋外階段 2 詳細図
A-03	改修特記仕様書 3	A-18	防水板位置図
A-04	付近見取図・配置図	A-19	防水板詳細図 1 (機械室 1～機械室 4)
A-05	機械室 1～機械室 4 平面図・断面図	A-20	防水板詳細図 2 (機械室 5・機械室 6)
A-06	機械室 1・機械室 2 立面図 (外壁改修)	A-21	防水板詳細図 3 (ポンプ)
A-07	機械室 3・機械室 4 立面図 (外壁改修)	A-22	防水板詳細図 4 (各平面詳細図・断面詳細図)
A-08	機械室 5・機械室 6 平面図・断面図	A-23	防水板詳細図 5 (外部・内部収納)
A-09	機械室 5・機械室 6 立面図 (外壁改修)		
A-10	泥土池建屋 平面図・天井伏図・屋根伏図	E-01	電気工事仕様書 (1)
A-11	泥土池建屋 立面図	E-02	電気工事仕様書 (2)
A-12	泥土池建屋 展開図	E-03	付近見取図・配置図
A-13	建具表	E-04	既設 平面図
A-14	部分詳細図 1	E-05	展開図・幹線系統図
A-15	部分詳細図 2	E-06	動力盤図

課 長	室 長	副課長	課長補佐	係 長	課 員	担 当

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																				
5章 金属工事	<p>1. 一般事項</p> <p>◎製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験は(行わない)。 確認強度は、M12全ねじ(グレーチング改修)は(19.81)kNとする。 ※0.04mm厚の鋼板(2ヶ所)に、M12全ねじ(2ヶ所)を1ヶ所ずつ取り付ける。 M16全ねじ(屋外階段1・2取付)(21.04)kNとする。 それぞれの引抜き耐力の2/3以上を引抜き試験値とする。</p> <p>2. 表面処理</p> <p>◎鉄鋼の亜鉛めっき(手すり、タラップ以外)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>表面処理方法</th> <th>めっきの種類</th> <th>記号又は等級</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>溶融亜鉛メッキ</td> <td>2種</td> <td>HDZ35</td> <td>屋外階段(2カ所) グレーチング足場(1カ所)</td> </tr> </table> <p>◎亜鉛めっきの試験は(行う)。(行わない)。 試験方法()</p> <p>3. 溶接、ろう付け等</p> <p>◎溶接及びろう付けによる接合後は、各表面仕上げの種類別の皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、標準仕14.2.3による。 ◎鉄の溶接は、標準仕様第7章「鉄骨工事」に準ずる。</p> <p>4. 手すり及びタラップ</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面処理</th> <th>直径</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼</td> <td>溶融亜鉛メッキ</td> <td>図示</td> <td>屋外階段</td> <td>JIS Z 8614</td> </tr> </table> <p>◎手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。</p>	種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施工箇所	C種	溶融亜鉛メッキ	2種	HDZ35	屋外階段(2カ所) グレーチング足場(1カ所)	材種	表面処理	直径	取付箇所	備考	鉄鋼	溶融亜鉛メッキ	図示	屋外階段	JIS Z 8614	<p>4. アルミ製ベンチレーター型トップライト</p> <p>◎耐風圧：S-5、気密性：、水密性：、表面仕上：B(シム)。 ◎防水が引について、メーカーによる防水性能試験結果を提出すること。 ◎工法：撤去工法、形式：ベンチレーター型トップライト(自然換気型)、有効開口率：メーカーによる ◎材質 ベース枠：783製 t=2、ルーバー部分：783製 t=1.5、ボルト：ステンレス製SUS304 トップライト(ドーム)：ポリカーボネート樹脂(乳白色) ◎既存躯体への取り付けはあと施工アンカー(接着系)D10とする。(位置は図示)</p> <p>5. 建具用金物</p> <p>◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、改標仕様5.7.1による。 ◎金属製建具に使用する丁番は改標仕様5.7.2による。 ◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。 ◎樹脂製建具に使用する丁番は、改標仕様5.7.3による。 ◎握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレスト等の取付け位置は図示による。 ◎マスターキーは、製作する(組)、その他の鍵の製作本数は(組)</p> <p>6. ガラス</p> <p>◎板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>品種</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>網入り板ガラス</td> <td>WKH2</td> <td>6.8mm</td> <td>JIS R 3204</td> </tr> </table> <p>◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと。 ◎ガラス留め材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> <th>ガラス溝の大きさ</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シリコンシーリング</td> <td>建具製造所の仕様による。</td> </tr> </table> <p>◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。</p> <p>7. 建具シーリング</p> <p>◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 ◎プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。 ◎監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。 ◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を(行う)。(行わない)。 ◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(簡易接着性試験・引張接着性試験)を行う。 ◎シーリング材は、改標仕様表3.7.1による。</p>	種類	品種	厚さ	備考	網入り板ガラス	WKH2	6.8mm	JIS R 3204	建具の種類	材種	ガラス溝の大きさ	アルミニウム製	シリコンシーリング	建具製造所の仕様による。	<p>8章 その他工事</p> <p>1. アスファルト舗装(補修程度)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td>屋外階段の床付近</td> <td>50mm</td> </tr> </table> <p>◎無収縮モルタル(グラウトモルタル) ◎使用箇所：既存配管すき間の止水、屋外階段の既存躯体との取合い部分</p> <p>2. グラウト材</p> <p>◎図示による。(詳細図確認) ◎鉄の溶接は、標準仕様第7章「鉄骨工事」に準ずる。</p> <p>3. 屋外鉄骨階段</p> <p>◎材料：XGグレーチング型エキスバンドメタル JIS G 3351 ◎寸法：600*400 t=4.5 亜鉛メッキ処理 ◎取り付けは図示による。(詳細図確認) ◎鉄の溶接は、標準仕様第7章「鉄骨工事」に準ずる。</p> <p>4. グレーチング足場</p>	舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	アスファルト	屋外階段の床付近	50mm																																														
種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施工箇所																																																																																					
C種	溶融亜鉛メッキ	2種	HDZ35	屋外階段(2カ所) グレーチング足場(1カ所)																																																																																					
材種	表面処理	直径	取付箇所	備考																																																																																					
鉄鋼	溶融亜鉛メッキ	図示	屋外階段	JIS Z 8614																																																																																					
種類	品種	厚さ	備考																																																																																						
網入り板ガラス	WKH2	6.8mm	JIS R 3204																																																																																						
建具の種類	材種	ガラス溝の大きさ																																																																																							
アルミニウム製	シリコンシーリング	建具製造所の仕様による。																																																																																							
舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)																																																																																							
アスファルト	屋外階段の床付近	50mm																																																																																							
6章 外壁改修工事	<p>1. 外壁改修の施工数量及び調査方法</p> <p>◎当工事の修繕工事数量は、修繕部分の調査数量を調査し、全体数量との面積比率により算定した数量の70%を計上して行う。 ◎施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。(設計変更単価は、単単価で行う) ◎外部足場設置後、施工数量調査を行う。 ◎調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。</p> <p>2. 外壁改修工法の種類及び材料</p> <p>◎コンクリート打ち放し仕上げ外壁</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>※0.2mm以上1.0mm以下 工法：自動式低圧注入樹脂注入工法 注入量：50ml/本 注入間隔：200~300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Uカットシール材充填工法</td> <td>※1.0mmを超える 材料：2成分系シリコン系シリカ +シリケートモルタル シーリング材：改標仕様3.7.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール工法</td> <td>※0.2mm以下 材料：パテ状樹脂+ケイ砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td></td> <td>※鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：エポキシ樹脂モルタル+ケイ砂 鉄筋防錆：改標仕様4.3.3(2) ※鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付</td> </tr> </table> <p>◎エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所：評価名簿による。</p>	工法	ひび割れ部	欠損部	樹脂注入工法	※0.2mm以上1.0mm以下 工法：自動式低圧注入樹脂注入工法 注入量：50ml/本 注入間隔：200~300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様		Uカットシール材充填工法	※1.0mmを超える 材料：2成分系シリコン系シリカ +シリケートモルタル シーリング材：改標仕様3.7.1		シール工法	※0.2mm以下 材料：パテ状樹脂+ケイ砂		充填工法		※鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：エポキシ樹脂モルタル+ケイ砂 鉄筋防錆：改標仕様4.3.3(2) ※鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付	<p>8章 脱着式防水板工事</p> <p>1. 水密性能</p> <p>◎水密性能 ※記号は防水板位置図による</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>No. 01</th> <th>No. 02</th> <th>No. 03</th> <th>No. 04</th> <th>No. 05</th> <th>No. 06</th> <th>No. 07</th> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> <td>脱着式防水板</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>機械室1</td> <td>機械室2</td> <td>機械室3</td> <td>機械室4</td> <td>機械室5</td> <td>機械室6</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>有効寸法</td> <td>1645*600</td> <td>1645*600</td> <td>1645*600</td> <td>1645*600</td> <td>1100*750</td> <td>1100*750</td> <td>1045*900</td> </tr> <tr> <td>耐水圧</td> <td colspan="3">600mm</td> <td colspan="3">750mm</td> <td>900mm</td> </tr> <tr> <td>許容漏水量</td> <td colspan="7">0.02m³/h・m²以下(工場出荷時)</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td colspan="7">材種：SUS304-CP t=4.5 厚さ：783</td> </tr> <tr> <td>通常厚状態</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> <td>常時設置</td> </tr> </table> <p>◎水密性能の検証は、設計水深による実験値に対して、安全側に設定されたメーカー自主設定値とする。 ◎製作メーカーの製品漏水証明書を提出すること</p> <p>2. 防水層製作</p> <p>◎製作メーカーの選定にあたり、防水性能、製作図、施工実績等についての資料を監督員に提出し、承認を得ること。 ◎製作メーカーは、現場寸法、納まり等詳細に検討して製作図を作成し、監督員の承認を受けること ◎製作メーカーは、防水層等の取り扱い、取り付け設置の図解書等必要な資料を提出すること ◎製作メーカーは、防水層等設置に関する施工計画書及び製品品質の全てのデータを提出すること ◎設置工事にあたり、製作メーカーの責任施工とすると共に、納入製品の1年間の保証書を提出すること</p> <p>3. 脱着式防水板</p> <p>◎縦枠：SUS304 t 4.5mm以上 HL仕上げ ◎パネル：アルミ製 t 1.0mm以上 総厚 t 62.0mm以上 ◎支柱：角パイプ SUS304 t 4.5mm以上 HL仕上げ ◎締付方法：締付ハンドル</p> <p>4. あと施工アンカー工事(防水板工事)</p> <p>◎あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受けること。 ◎埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。 ◎鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。 ◎施工確認試験は(行わない)。(行わない)。(確認強度(23.54kN)) ◎あと施工アンカーは(金属系)アンカー・接着系アンカー)とする。 ・金属系アンカー 引張耐力(6.5kN)とする。せん断耐力(10.1kN)とする。 アンカー本体の径(M8)、埋込深さ(35)とする。 アンカーセット方式は本体打ち込み式とする。 接合部の種類は()、径()、長さ()とする。 ・接着系アンカー 引張耐力()とする。せん断耐力()とする。 アンカーの種類はカプセル型()とする。 ※接着系アンカーを使用する場合は、事前に監督員の承諾を受けること。</p>	記号	No. 01	No. 02	No. 03	No. 04	No. 05	No. 06	No. 07	形式	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	設置場所	機械室1	機械室2	機械室3	機械室4	機械室5	機械室6	ポンプ	数量	1	1	1	1	1	1	1	有効寸法	1645*600	1645*600	1645*600	1645*600	1100*750	1100*750	1045*900	耐水圧	600mm			750mm			900mm	許容漏水量	0.02m ³ /h・m ² 以下(工場出荷時)							材質	材種：SUS304-CP t=4.5 厚さ：783							通常厚状態	常時設置						
工法	ひび割れ部	欠損部																																																																																							
樹脂注入工法	※0.2mm以上1.0mm以下 工法：自動式低圧注入樹脂注入工法 注入量：50ml/本 注入間隔：200~300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様																																																																																								
Uカットシール材充填工法	※1.0mmを超える 材料：2成分系シリコン系シリカ +シリケートモルタル シーリング材：改標仕様3.7.1																																																																																								
シール工法	※0.2mm以下 材料：パテ状樹脂+ケイ砂																																																																																								
充填工法		※鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：エポキシ樹脂モルタル+ケイ砂 鉄筋防錆：改標仕様4.3.3(2) ※鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付																																																																																							
記号	No. 01	No. 02	No. 03	No. 04	No. 05	No. 06	No. 07																																																																																		
形式	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板	脱着式防水板																																																																																		
設置場所	機械室1	機械室2	機械室3	機械室4	機械室5	機械室6	ポンプ																																																																																		
数量	1	1	1	1	1	1	1																																																																																		
有効寸法	1645*600	1645*600	1645*600	1645*600	1100*750	1100*750	1045*900																																																																																		
耐水圧	600mm			750mm			900mm																																																																																		
許容漏水量	0.02m ³ /h・m ² 以下(工場出荷時)																																																																																								
材質	材種：SUS304-CP t=4.5 厚さ：783																																																																																								
通常厚状態	常時設置	常時設置	常時設置	常時設置	常時設置	常時設置	常時設置																																																																																		
7章 建具改修工事	<p>1. 一般事項</p> <p>◎外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する幌壁の基準(昭和46年建設省告示第109号)」に基づき、安全性を確認すること。 ◎建具の耐風圧性、気密性、水密性等については、性能を有することを証明する書類を提出し、監督員の承諾をうけること。 ◎外部に面する建具の作業工程は、原則として、方立等の撤去、建具枠の取付け及びガラスのはめ込みまでを1日の作業とする。 ◎施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等があれば、監督員と協議すること。 ◎防犯建物部品の適用は、建具表による。 ◎防火戸の指定は建具表による。 ◎建具見本の製作及び特殊な建具の取組は、建具表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> </tr> <tr> <td>撤去の範囲</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>既成建具の種類</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>新設建具の種類</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>建具周囲の補修工法及び範囲</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>シーリングの種類</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>サッシアンカー</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>養生範囲</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> </tr> </table> <p>2. 改修工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込寸法</th> <th>使用箇所</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>アルミ</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>図示</td> <td>B-1</td> </tr> </table> <p>◎製造所：評価名簿による。 ◎工法 撤去工法、カバー工法(図示) ◎建具には製作者名を表示すること。 ◎結露水の処理方法は図示による。 ◎既存枠へ新規に建具を取り付ける場合は、原則として小ねじどめとし、とめ付け間隔は、両端を押さえて、中間は400mm以下とする。やむを得ず溶接どめとする場合は、監督員と協議し、溶接部分には鉛酸カルシウムさび止めペイント(JIS K 5629)を1回塗りする。</p> <p>3. アルミニウム製建具</p>	区分	かぶせ工法	撤去工法	撤去の範囲	図示による	図示による	既成建具の種類	図示による	図示による	新設建具の種類	図示による	図示による	建具周囲の補修工法及び範囲	図示による	図示による	シーリングの種類	図示による	図示による	サッシアンカー	図示による	図示による	養生範囲	図示による	図示による	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理	アルミ	S-5	A-4	W-4	70	図示	B-1	<p>◎工名 R3企工 吉野川北岸工業用水道 排泥弁室浸水対策他工事</p> <p>◎図面番号 A-03</p> <p>◎縮尺</p>	<p>一級建築士事務所 創和建築設計</p> <p>徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康</p> <p>徳島市国府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257</p>																																																
区分	かぶせ工法	撤去工法																																																																																							
撤去の範囲	図示による	図示による																																																																																							
既成建具の種類	図示による	図示による																																																																																							
新設建具の種類	図示による	図示による																																																																																							
建具周囲の補修工法及び範囲	図示による	図示による																																																																																							
シーリングの種類	図示による	図示による																																																																																							
サッシアンカー	図示による	図示による																																																																																							
養生範囲	図示による	図示による																																																																																							
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理																																																																																			
アルミ	S-5	A-4	W-4	70	図示	B-1																																																																																			
徳島県企業局		●工事名 R3企工 吉野川北岸工業用水道 排泥弁室浸水対策他工事		●図面番号 A-03		一級建築士事務所 創和建築設計																																																																																			
		●図面名 改修特記仕様書3		●縮尺		徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康																																																																																			



配置図 支障物件図 S=1/800



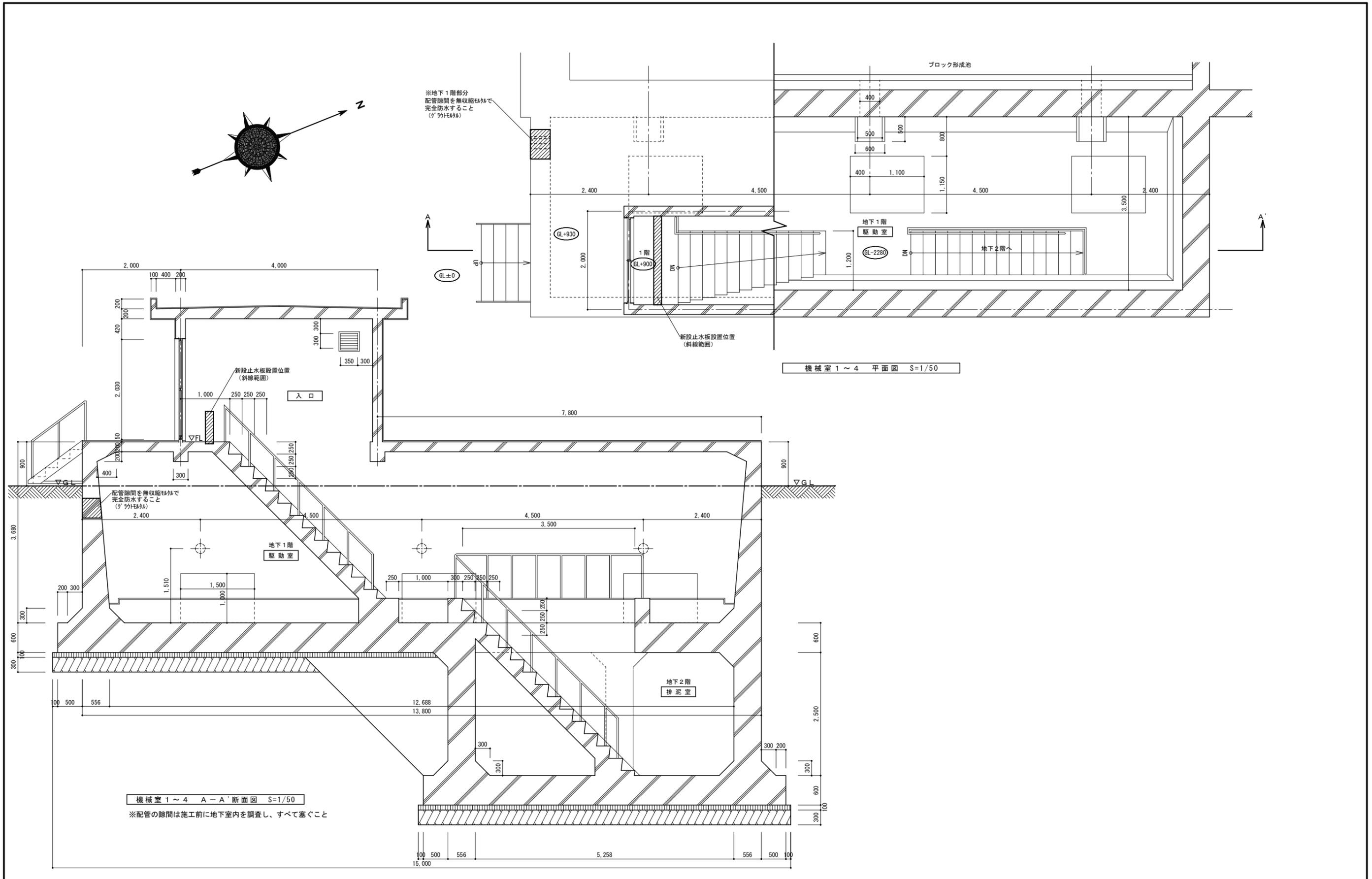
付近見取り図

- 凡例
- ...斜線範囲は工事施工建物・位置を示す。
 - ...カラーコーン、コーンバー2.0mを示す。
38個 27本

番号	工事位置	工事内容
①	機械室1	1階正面「引違い戸」の屋内側に防水板を設置する(上端GL+1400以上) 地下の外壁配管廻りの防水・止水処理する(グラウトモルタルを注入)
②	機械室2	同上
③	機械室3	同上
④	機械室4	同上
⑤	機械室5	1階正面「片引き戸」の屋内側に防水板を設置する(上端GL+1400以上) 地下の外壁配管廻りの防水・止水処理する(グラウトモルタルを注入)
⑥	機械室6	同上
⑦	泥土建屋	入口片開き戸(1ヶ所)、屋内引違い窓(3ヶ所)、外部ガラリ(1ヶ所)、屋根換気ガラリ(2ヶ所)の建具類の撤去・新設(アルミ製建具) 建物躯体のクラック等屋内外壁面補修 電気盤の移設
⑧	泥土池足場	既存鋼製グレーチングの撤去・新設(ステンレス製グレーチング)
⑨	ポンプ	ポンプ基礎周囲にコンクリート壁の増設及び1面は防水板の新設 配管廻りは止水処理(グラウトモルタル圧入)し、既存鋼製屋根は仮撤去・再利用
⑩	屋外階段1	着水井周りに鋼製階段を新設(片側手すり付き)
⑪	屋外階段2	NO.1次配池の図示の位置に鋼製階段を新設(片側手すり付き)

※止水板を設置する工事箇所は、建物外観が酷似している場合であっても各個所で施工前に必ず採寸すること。
 ※工事番号10・11の工事について、位置は施工時に管理者、監督員、施工管理者の3者で協議してから決定すること。

徳島県企業局	●工事名 R3企工 吉野川北岸工業水道 排泥弁室浸水対策他工事	●図面番号 A-04	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康
	●図面名 付近見取り図・配置図	●縮尺 1/800	徳島市面府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257



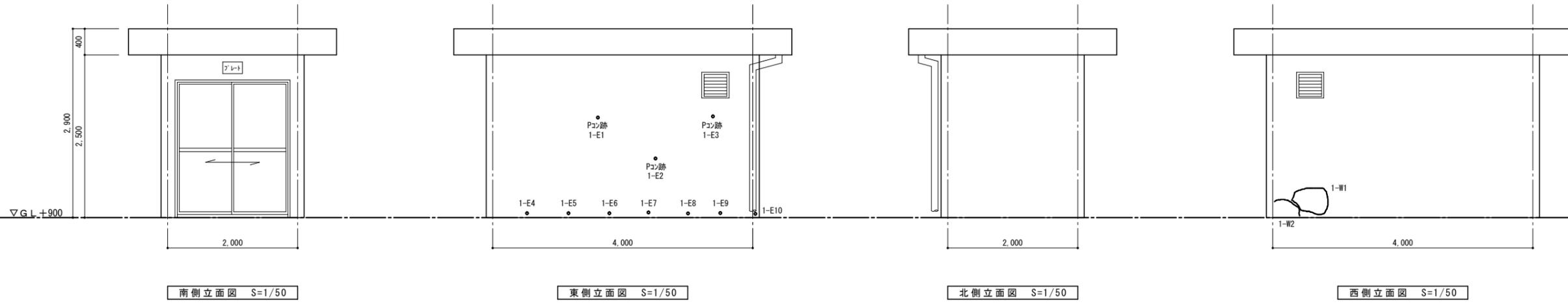
※機械室の止水板の設置に関しては施工前に設置位置を必ず採寸し、止水板の幅・高さや設置位置の状況を確認してから施工すること。

※機械室内（地階も含む）の配管隙間など洪水時に外部から浸水がないようにすべて塞ぐこと。（高さはGL+1500までの範囲を浸水対策すること）

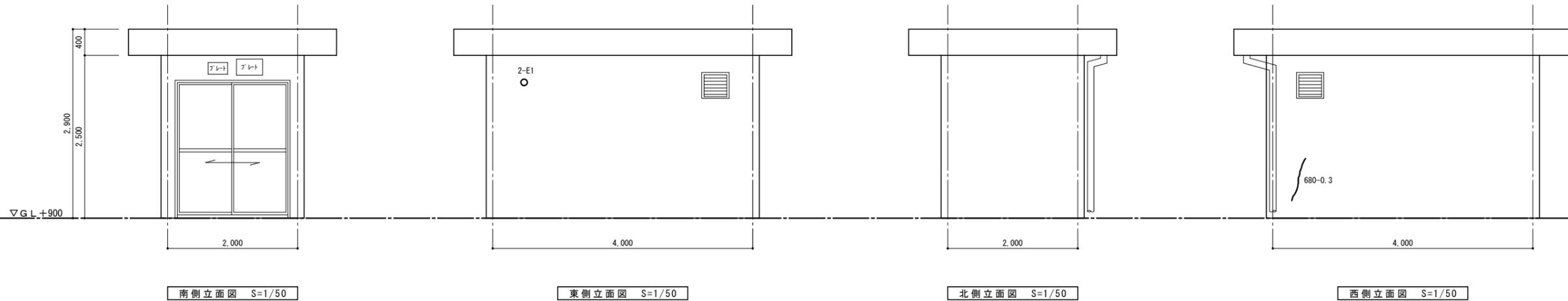
徳島県企業局	●工事名 R3企工 吉野川北岸工業用水道 排泥弁室浸水対策他工事	●図面番号 A-05	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 徳島市西府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257
●図面名 機械室1-4 平面図・断面図		●縮尺 1/50	

凡例番号	既設面	改修概要	工事概要		改修概要
			凡例番号	現況破損部分 状況	
①	外壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面(ひび割れ、欠損) 改修	Ⅰ	欠損 (鉄筋露出部)	鉄筋防錆塗の上、充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂
②	軒先：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面(ひび割れ、欠損) 改修	Ⅱ	欠損 (浅い欠損30mm以下)	充填工法：ポリマーセメントモルタル充填
③	軒裏：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面(ひび割れ、欠損) 改修	Ⅲ	補修済み部	充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填
④	壁礎：塩ビ製壁礎	既存のまま			
⑤	屋根：防水モルタル仕上げ (既存防水層は不明)	水洗い工法			
⑥	内壁：型枠コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま	凡例	クラック表記例	改修概要
⑦	天井：コンクリート打放仕上げ	既存のまま	長さ(mm)→クラック巾(mm)	(500-0.1) 0.1~0.2mm未満	シーリング工法：パテ状エポキシ樹脂+ケイ砂
⑧	床：コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま		(500-0.3) 0.2mm以上1.0mm以下	樹脂注入工法：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
				(500-1.2) 1.0mmを超える	Uカットシーリング材充填工法：2成分系ポリウレタン系シーリング+ポリマーセメントモルタル

機械室 1 外壁改修



機械室 2 外壁改修

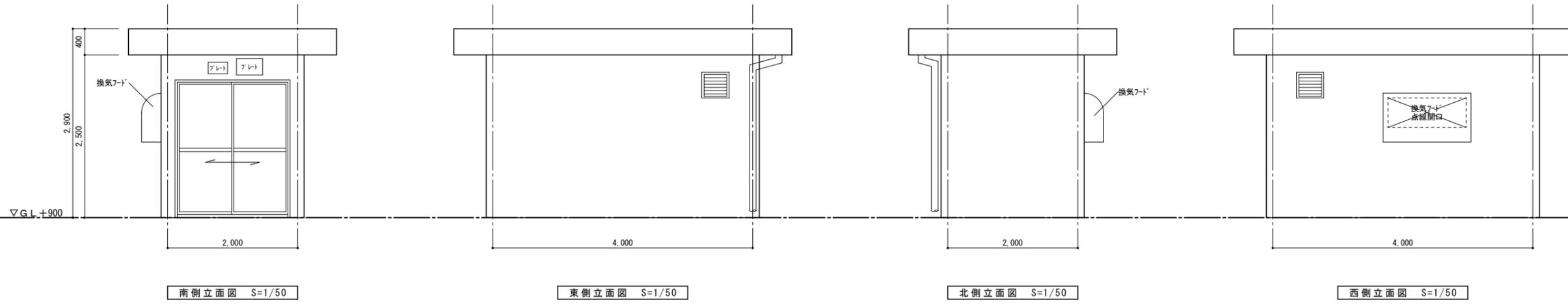


特記事項	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法
	番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号		番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号	
※外壁面のGL+1500以下の部分の配管隙間はすべて塞ぐこと。 ※無収縮モルタル(クラックモルタル)を使用すること。 ※1-S1...1(機械室の番号)-S(方位)1(欠損の番号)を示す。 ※ヘアクラックは数量に含まないものとする。 ※施工前に外壁改修部分の数量調査をすること。	1-E1	補修済み	50*50	Ⅲ	1-E6	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ	1-W1	欠損 (浅い欠損)	600*400	Ⅱ
	1-E2	補修済み	50*50	Ⅲ	1-E7	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ	1-W2	欠損 (浅い欠損)	400*300	Ⅱ
	1-E3	補修済み	50*50	Ⅲ	1-E8	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ				
	1-E4	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ	1-E9	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ				
	1-E5	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ	1-E10	欠損 (鉄筋露出)	50*50	Ⅰ				

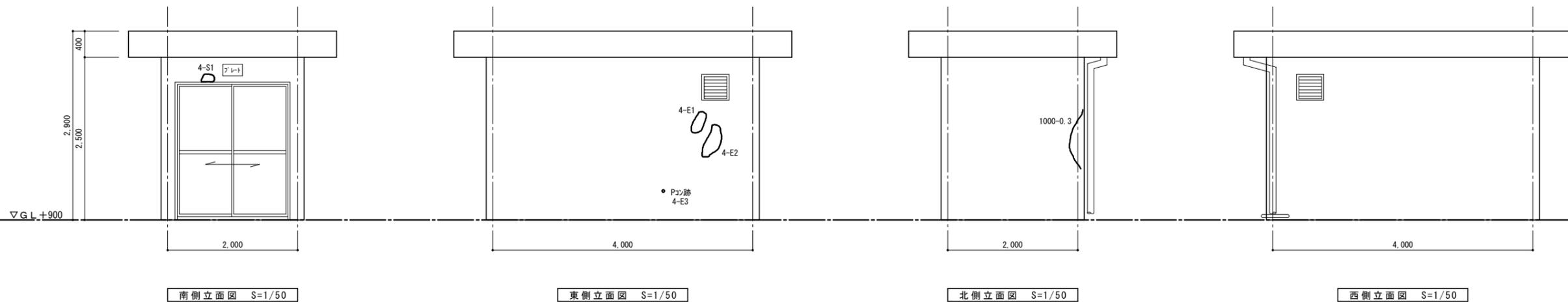
徳島県企業局	●工事名 R3企工 吉野川北岸工業用水道 排泥弁室浸水対策他工事	●図面番号 A-06	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康
	●図面名 機械室1・2 立面図(外壁改修)	●縮尺 1/50	徳島市面府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257

凡例番号	既設面	改修概要	工事概要		改修概要
			凡例番号	現況破損部分 状況	
Ⓐ	外壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅰ	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗の上、充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂
Ⓑ	軒先：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅱ	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法：ポリマーセメントモルタル充填
Ⓒ	軒裏：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅲ	補修済み部	充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填
Ⓓ	壁礎：塩ビ製壁礎	既存のまま			
Ⓔ	屋根：防水モルタル仕上げ（既存防水層は不明）	水洗い工法			
Ⓕ	内壁：型枠コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま	凡例	クラック表記例	改修概要
Ⓖ	天井：コンクリート打放仕上げ	既存のまま	長さ(mm)→クラック巾(mm)	(500-0.1) 0.1~0.2mm未満	シーリング工法：パテ状エポキシ樹脂+ケイ砂
Ⓗ	床：コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま		(500-0.3) 0.2mm以上1.0mm以下	樹脂注入工法：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
				(500-1.2) 1.0mmを超える	Uカットシーリング材充填工法：2成分系ポリウレタン系シーリング+ポリマーセメントモルタル

機械室 3 外壁改修

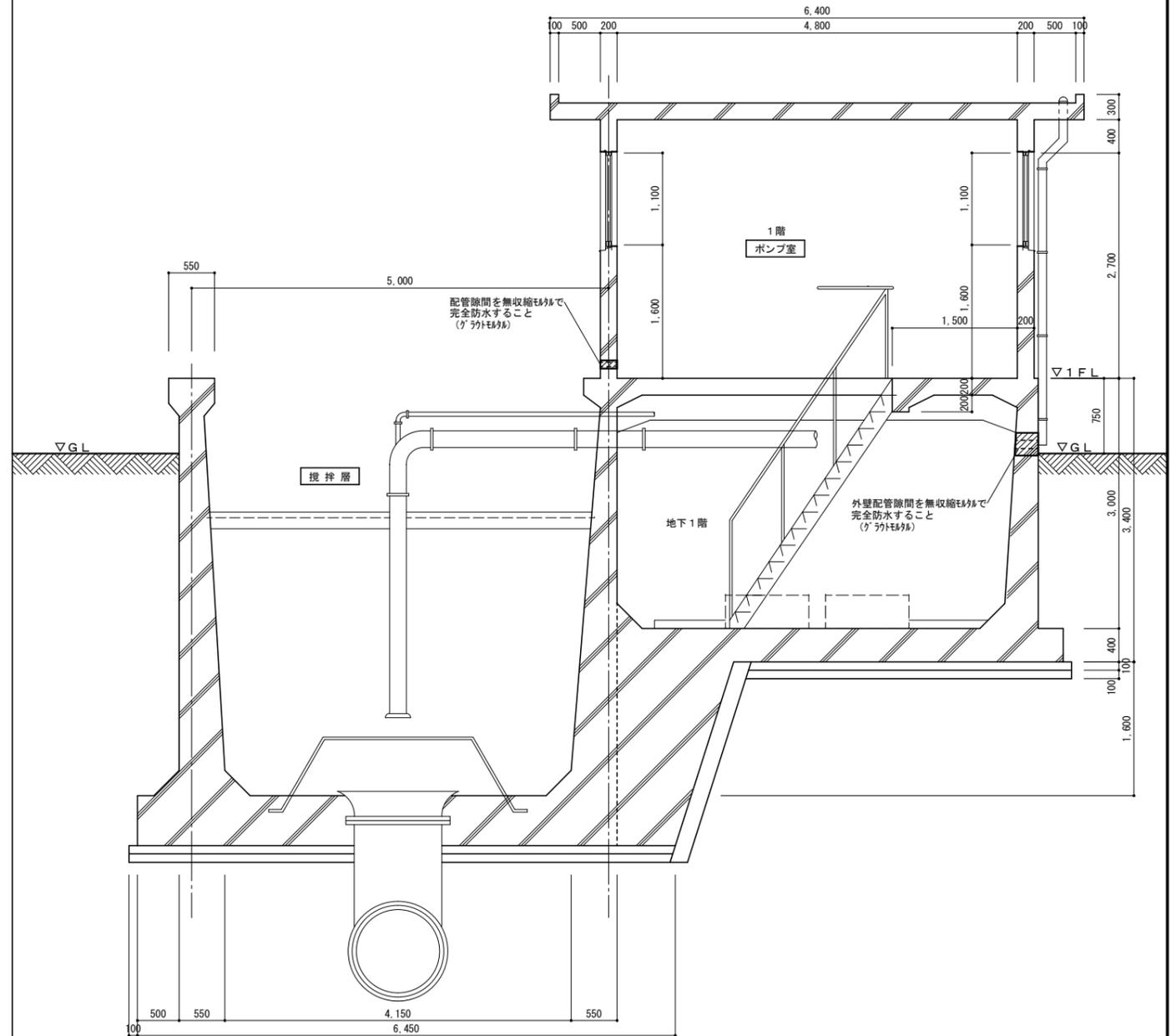
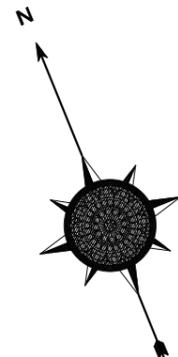
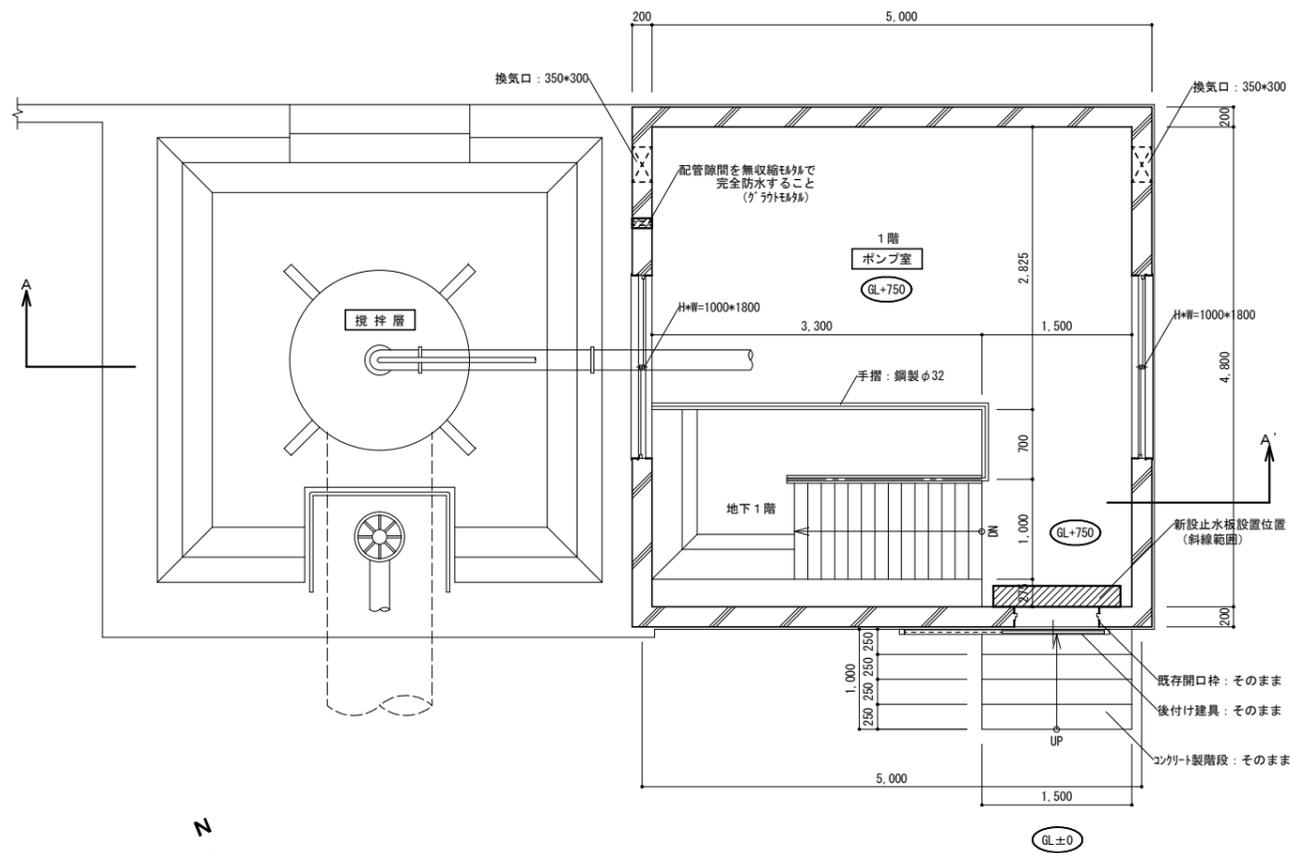


機械室 4 外壁改修



特記事項	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法
	番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H	
※外壁面のGL+1500以下の部分の配管隙間はすべて塞ぐこと。 無収縮モルタル(グラウトモルタル)を使用すること。 ※1-S1...1(機械室の番号)-S(方位)1(欠損の番号)を示す。 ※ヘアクラックは数量に含まないものとする。 ※施工前に外壁改修部分の数量調査をすること。	4-S1	欠損(浅い欠損) 200×120	Ⅰ	4-E1	欠損(浅い欠損) 200×500	Ⅱ	4-E2	欠損(浅い欠損) 200×500	Ⅲ	4-E3	補修済み 50×50	Ⅳ

徳島県企業局	●工事名 R3企工 吉野川北岸工業用水道 排泥弁室浸水対策他工事	●図面番号 A-07	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康
	●図面名 機械室3・4 立面図(外壁改修)	●縮尺 1/50	徳島市南府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257



※機械室の止水板の設置に関しては施工前に設置位置を必ず採寸し、止水板の幅・高さや設置位置の状況を確認してから施工すること。
 ※機械室内（地階も含む）の配管隙間など洪水時に外部から浸水がないようにすべて塞ぐこと。（高さはGL+1500までの範囲を浸水対策すること）

徳島県企業局

●工事名 R3企工 吉野川北岸工業用水道
 排泥弁室浸水対策他工事

●図面番号 A-08

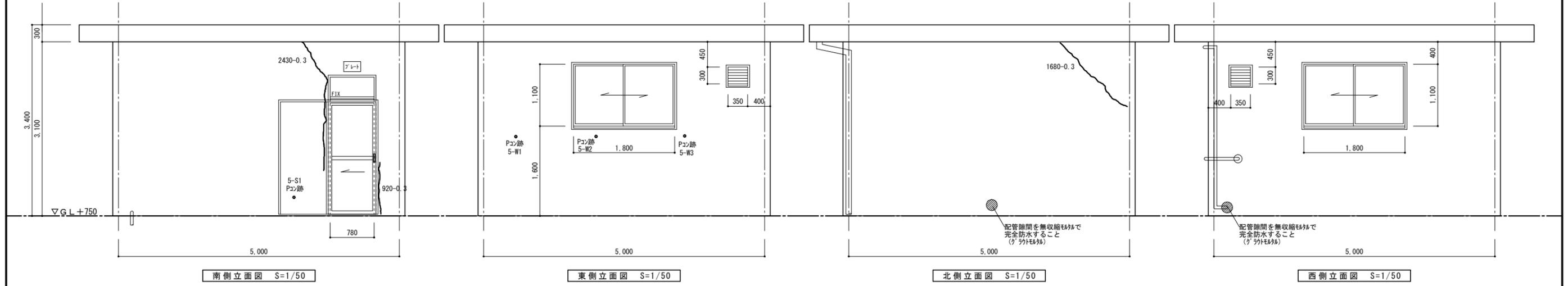
●図面名 機械室 5・6 平面図・断面図

●縮尺 1/50

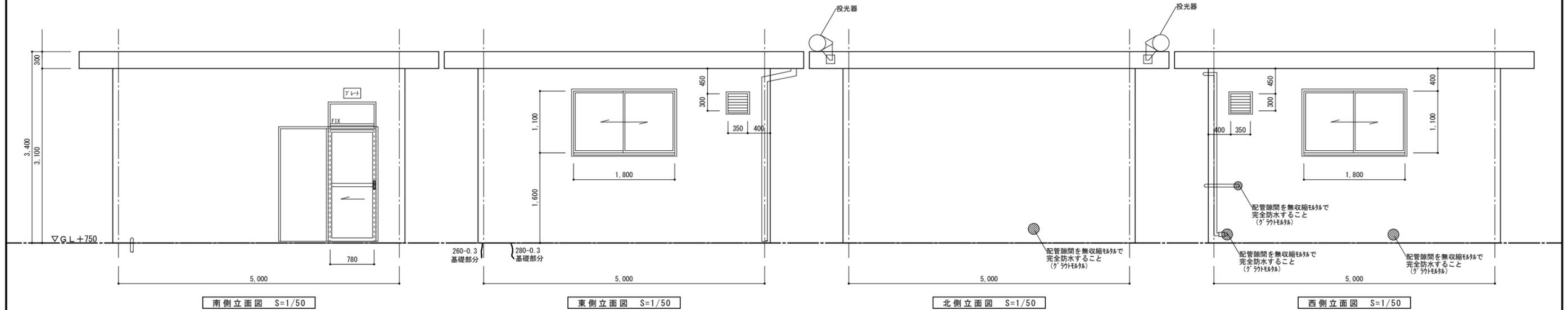
一級建築士事務所
 創和建築設計
 徳島県知事登録 第61073号
 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康
 徳島市西府町花園76-3
 Tel: 088-642-5062
 Fax: 088-642-4257

凡例番号	既設面	改修概要	工事概要		改修概要
			凡例番号	現況破損部分 状況	
①	外壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅰ	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗の上、充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂
②	軒先：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅱ	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法：ポリマーセメントモルタル充填
③	軒裏：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅲ	補修済み部	充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填
④	壁礎：塩ビ製壁礎	既存のまま			
⑤	屋根：防水モルタル仕上げ（既存防水層は不明）	水洗い工法			
⑥	内壁：型枠コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま	凡例	クラック表記例	改修概要
⑦	天井：コンクリート打放仕上げ	既存のまま	長さ(mm)→クラック巾(mm)	(500-0.1) 0.1~0.2mm未満	シール工法：パテ状エポキシ樹脂+ケイ砂
⑧	床：コンクリート打放仕上げ	改修部分のみ 他そのまま		(500-0.3) 0.2mm以上1.0mm以下	樹脂注入工法：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
				(500-1.2) 1.0mmを超える	Uカットシール材充填工法：2成分系ポリウレタン系シーリング+ポリマーセメントモルタル

機械室 5 外壁改修

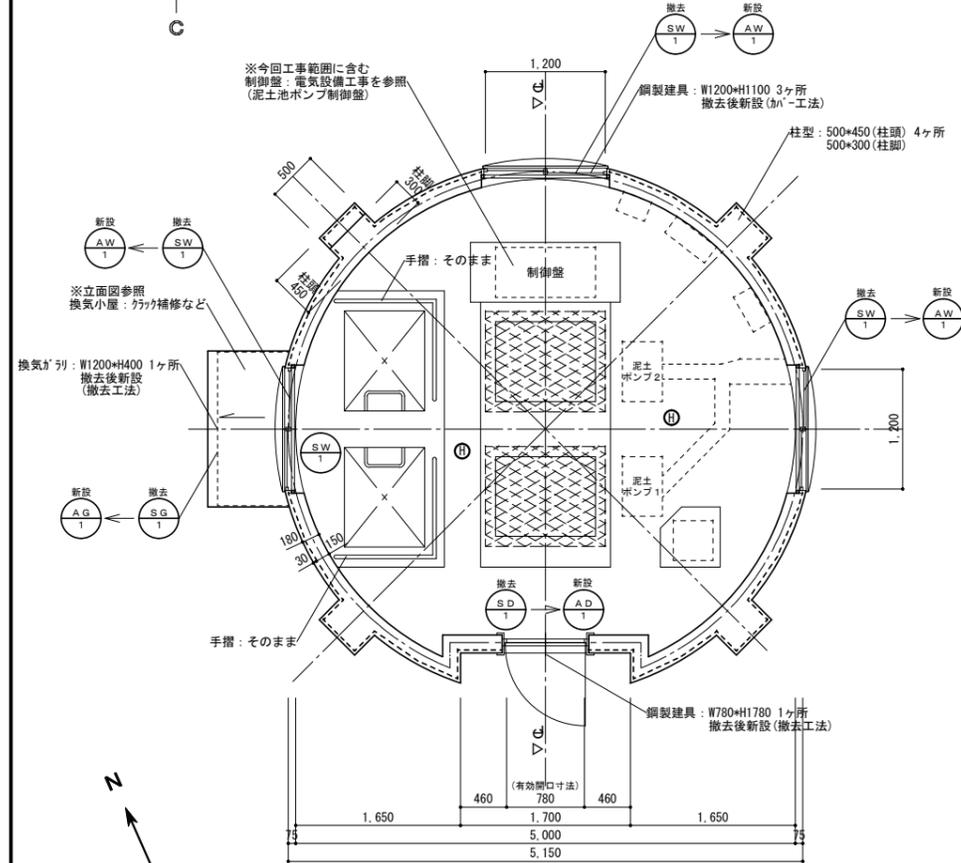
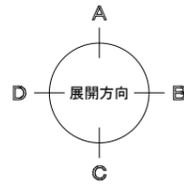


機械室 6 外壁改修

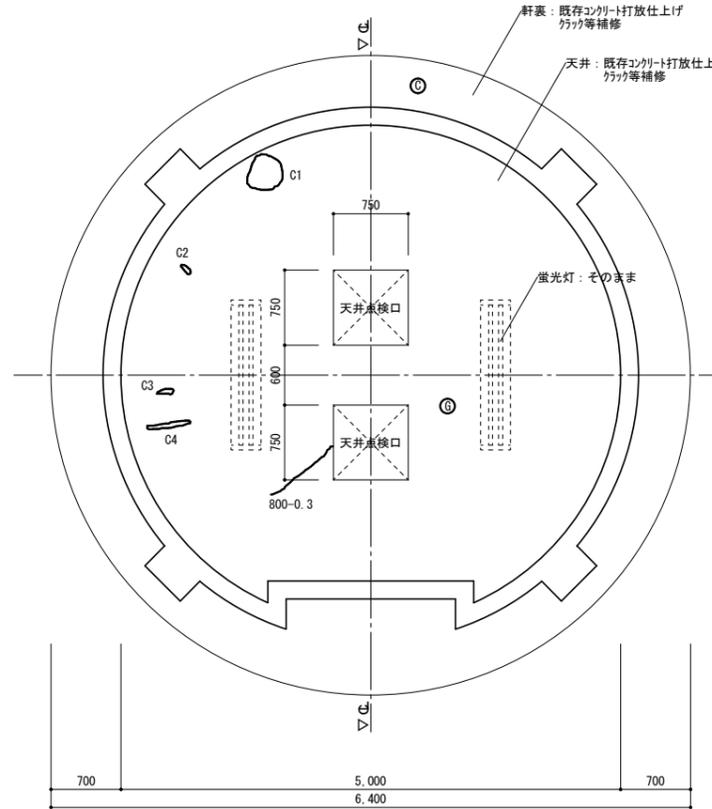


特記事項	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法
	番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号		番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号	
※外壁面のGL+1500以下の部分の配管隙間はすべて塞ぐこと。 無収縮モルタル(ケラトモルタル)を使用すること。 ※1-S1...1(機械室の番号)-S(方位)1(欠損の番号)を示す。 ※ヘアクラックは数量に含まないものとする。 ※施工前に外壁改修部分の数量調査をすること。	5-S1	補修済み部	50×50	Ⅲ	5-W1	補修済み部	50×50	Ⅲ				
					5-W2	補修済み部	50×50	Ⅲ				
					5-W3	補修済み部	50×50	Ⅲ				

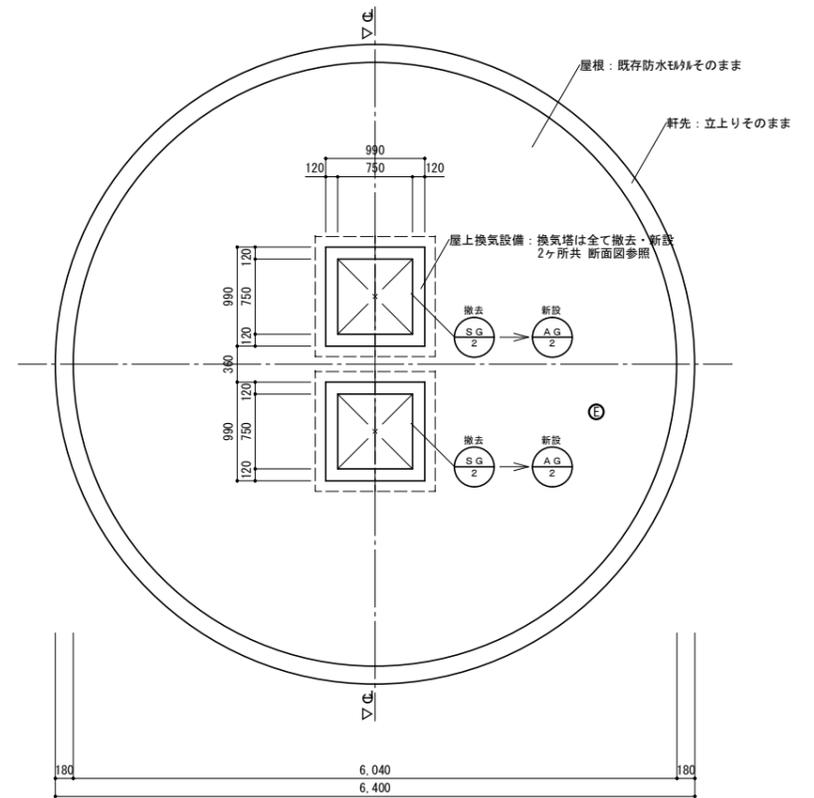
凡例番号	既設面	改修概要	工事概要		改修概要
			凡例番号	現況破損部分 状況	
①	外壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	II	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗の上、充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂
②	軒先：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	III	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法：ポリマーセメントモルタル充填
③	軒裏：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	III	補修済み部	充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填
④	壁礎：塩ビ製整礎	既存のまま			
⑤	屋根：防水モルタル仕上げ（既存防水層は不明）	水洗い工法			
⑥	内壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	凡例	クラック表記例	
⑦	天井：コンクリート打放仕上げ	下地面（ひび割れ、欠損）改修	長さ(mm)→クラック巾(mm)	(500-0.1) 0.1~0.2mm未満	シール工法：パテ状エポキシ樹脂+ケイ砂
⑧	床：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	(500-0.3) 0.2mm以上1.0mm以下	(500-1.2) 1.0mmを超える	樹脂注入工法：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
⑨	内部基礎：コンクリート打放仕上げ	既存のまま			Uカットシール材充填工法：2成分系ポリウレタン系シーリング+ポリマーセメントモルタル



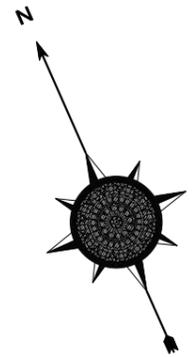
泥土池建屋 平面図 S=1/50



泥土池建屋 天井伏図 S=1/50

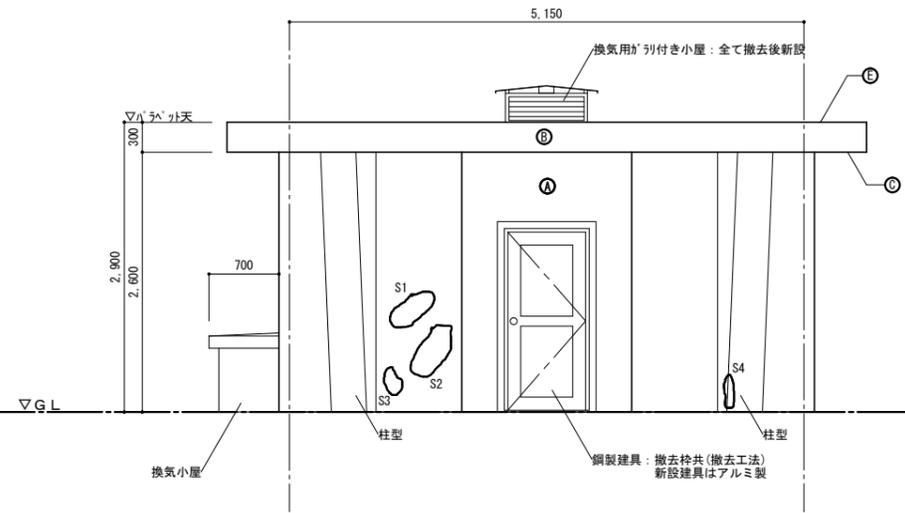


泥土池建屋 屋根伏図 S=1/50

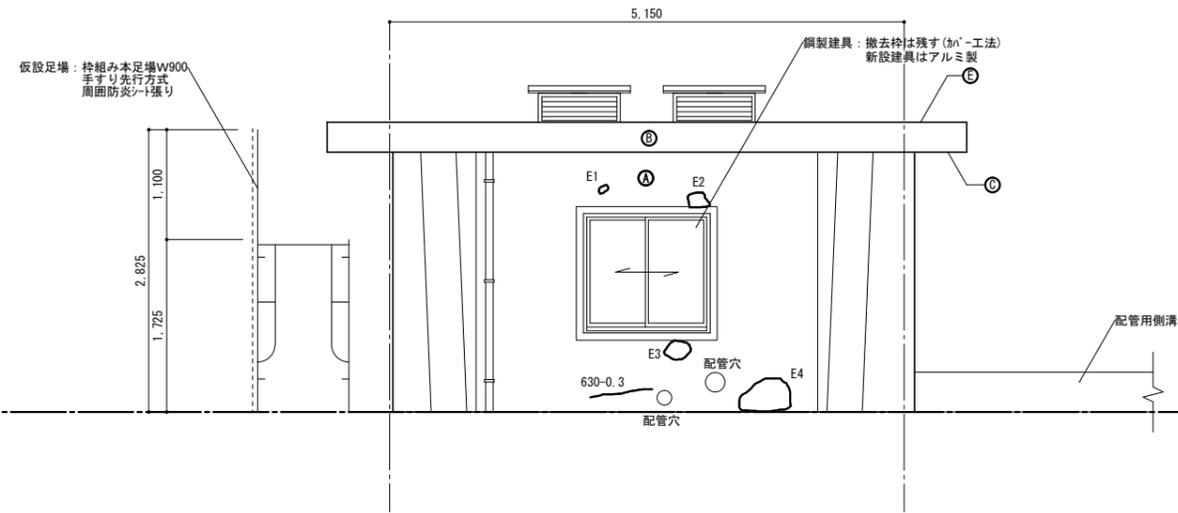


特記事項	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法
	番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H		番号	破損状況 寸法(mm) W×H	
※ヘアクラックは数量に含まないものとする。 ※施工前に外壁改修部分の数量調査をすること。				C1	欠損（浅い欠損） 350×350	II						
				C2	欠損（鉄筋露出） 100×100	II						
				C3	欠損（鉄筋露出） 100×100	II						
				C4	欠損（鉄筋露出） 100×450	II						

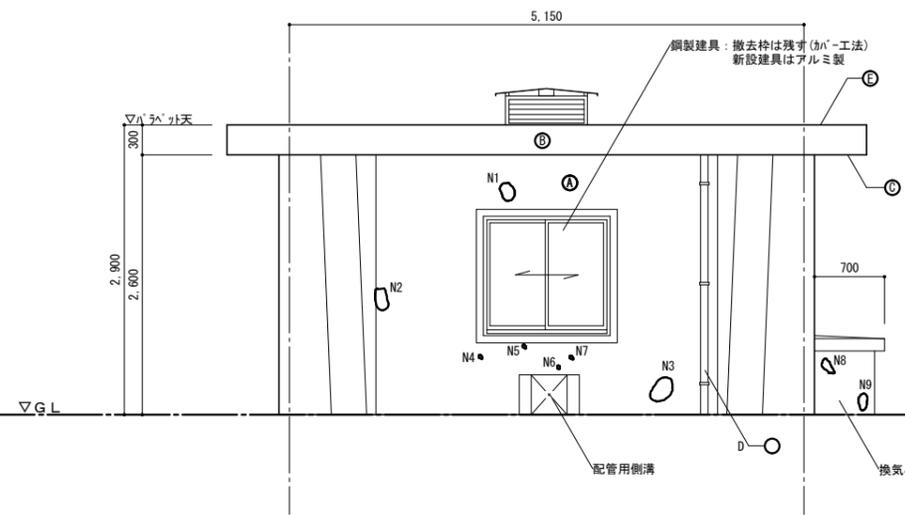
凡例番号	既設面	改修概要	工事概要		改修概要
			凡例番号	現況破損部分 状況	
Ⓐ	外壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅰ	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗の上、充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂
Ⓑ	軒先：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅱ	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法：ポリマーセメントモルタル充填
Ⓒ	軒裏：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	Ⅲ	補修済み部	充填工法：エポキシ樹脂モルタル充填
Ⓓ	壁礎：塩ビ製整礎	既存のまま			
Ⓔ	屋根：防水もみ仕上げ（既存防水層は不明）	水洗い工法			
Ⓕ	内壁：型枠コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	凡例	クラック表記例	改修概要
Ⓖ	天井：コンクリート打放仕上げ	下地面（ひび割れ、欠損）改修	長さ(mm)→クラック巾(mm)	(500-0.1) 0.1~0.2mm未満	シーリング工法：パテ状エポキシ樹脂+ケイ砂
Ⓗ	床：コンクリート打放仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、欠損）改修	(500-0.3) 0.2mm以上1.0mm以下	(500-1.2) 1.0mmを超える	樹脂注入工法：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
Ⓙ	内部基礎：コンクリート打放仕上げ	既存のまま			Uカットシーリング材充填工法：2成分系ポリウレタン系シーリング+ポリマーセメントモルタル



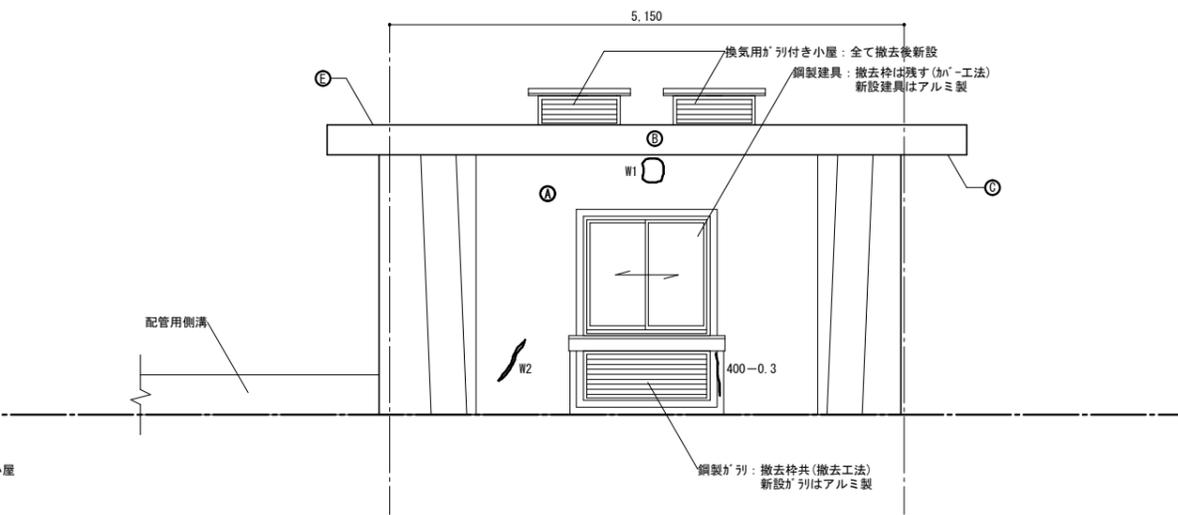
南側立面図 S=1/50



東側立面図 S=1/50



北側立面図 S=1/50



西側立面図 S=1/50

特記事項	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法	現況破損状況		改修方法					
	番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号		番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号		番号	破損状況		寸法(mm) W×H	凡例番号	番号	破損状況	寸法(mm) W×H
・鋼製建具（引違い窓）は3か所すべてカバー工法とする。 ・鋼製建具（片引き戸）は正面入り口撤去工法とする。 ・上記新設建具はアルミ製とする。（建具表参照） ※設備機器類は電気設備図参照とする。 ※S1…番号前のローマ字は立面の方位を示す。 ※ヘアクラックは数量に含まないものとする。 ※施工前に外壁改修部分の数量調査をすること。	S1	欠損（浅い欠損）	450×350	Ⅱ	E1	欠損（鉄筋露出）	100×100	Ⅰ	N1	欠損（鉄筋露出）	150×200	Ⅰ	N6	欠損（鉄筋露出）	100×100	Ⅰ	W1	欠損（浅い欠損）	200×250	Ⅱ
	S2	欠損（浅い欠損）	400×500	Ⅱ	E2	欠損（浅い欠損）	250×150	Ⅱ	N2	欠損（鉄筋露出）	150×200	Ⅰ	N7	欠損（鉄筋露出）	100×100	Ⅰ	W2	欠損（鉄筋露出）	100×500	Ⅰ
	S3	欠損（浅い欠損）	200×300	Ⅱ	E3	欠損（鉄筋露出）	250×200	Ⅰ	N3	欠損（浅い欠損）	220×250	Ⅱ	N8	欠損（浅い欠損）	100×150	Ⅱ				
	S4	欠損（浅い欠損）	200×400	Ⅱ	E4	欠損（鉄筋露出）	500×300	Ⅰ	N4	欠損（鉄筋露出）	100×100	Ⅰ	N9	欠損（鉄筋露出）	100×150	Ⅰ				
										N5	欠損（鉄筋露出）	100×100	Ⅰ							